

図表1 ドイツの原子炉が停止される年

資料：ドイツ連邦政府、フランクフルター・アルゲマイネ紙

	原子炉	運転開始年	停止の年
1	Biblis A	1975	2011年の原子力モラトリアムで停止、その後廃炉決定。
2	Biblis B	1977	同上
3	Isar 1	1979	同上
4	Brunsbüttel	1977	同上
5	Neckarwestheim 1	1976	同上
6	Philippsburg 1	1980	同上
7	Unterweser	1979	同上
8	Krümmel	1984	2007年の火災以来、トラブルで停止していたが、2011年に廃炉決定。
9	Grafenrheinfeld	1982	2015
10	Gundremmingen B	1985	2017
11	Philippsburg 2	1985	2019
12	Grohnde	1985	2021
13	Gundremmingen C	1985	2021
14	Brokdorf	1986	2021
15	Isar 2	1988	2022
16	Emsland	1988	2022
17	Neckarwestheim 2	1989	2022

ドイツ国内と周辺国の原発立地状況 (2011年3月11日に稼働中、ないし点検のために停止していた原子炉)



出典：『なぜメルケルは「転向」したのか—ドイツ原子力四〇年戦争の真実』（熊谷徹著 日経BP社 ISBN:978-4-8222-4890-1 発行日:2012/01/30）  
 p.13 地図:ドイツ国内と周辺国の原発立地状況(第1章まえの地図)  
 p.25 図表1:ドイツの原子炉が停止される年